

第4回意見交換会の開催報告

1.日時：令和2年7月31日 18時00分～19時10分

2.場所：名古屋市役所 12A 会議室

3.団体名：相生山緑地内道路早期完成協議会

4.市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）

道路維持課 姫野主査（安全対策）

道路建設課 蒲野主査（事業調整）

緑地事業課 中村緑地計画係長

5.参加者：8名

6.当日の次第

（1）開始のあいさつ

（2）世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する現状報告

（3）入り込み交通対策について

（4）弥富相生山線について

（5）相生山緑地の基本計画の検討について

（6）終了のあいさつ

7.主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）

（弥富相生山線について）

○東海豪雨では2.5mの高さまで水がつき、野並交差点が水没した。その時に通る道がない。九州や東北の豪雨があり心配である。早く道路を通してほしい。今年は工事の予算が付くのか？

●渋滞対策としてのお金がついている。また、環境調査、交通調査、点検を行って結果を皆様に示して意見交換を行っていききたい。

○新島田橋西交差点の直進を増やす工事は、橋を拡げるのか。

●橋はそのまま、東行きに余裕があるので少し車線を狭めて、バス専用レーンになっている1車線を含めて西行きを4車線にする。

○島田から新島田橋西までの車線幅がすごく狭い。バスが車線ギリギリを走行し、接触するのではと心配になる。

●安全対策については、警察と話し合いながら進めている。

○交通渋滞のために弥富相生山線があるのではないということ。弥富相生山線は戦前から計画が立っており、当時は渋滞は関係ない。土地を持っていた方は、行政が

道を造るというので土地を売った。

○道路を造る前提で公園の計画を立てないとおかしい。地元が黙っていたのもいけなかったかも知れないが、道路反対派に行政が押されているのがあるべき姿なのかと思う。

○5,000 名以上の要望があるのになぜ工事がストップしているのか。

●道路建設賛成・反対両方の立場から理解を得られていない。ご理解を頂くため今年の調査結果を意見交換会で示す。

○8 割建設済の箇所は完全に自然が戻っている。木も茂って素敵な道路になっており、ぜひ道路を通して頂きたい。

○相生山神社の辺りは家の明かりもあるのにホタルはいる。クワガタやカブトムシより強い。なぜホタルのことばかり言うのか。

●ヒメボタルは名古屋市準絶滅危惧種となっている。

○ヒメボタルは九州から北海道までいっぱいいる。名古屋市は宅地化されたから準絶滅危惧種なのでは。名古屋城のお堀には私が小さい頃からいる。

●ヒメボタルが注目されている中で、基本的な情報として現状を把握する必要がある。今年度の飛翔調査で、緑地全域でヒメボタルが飛翔しているのは把握できた。

○青少年公園で万博を行うことになった時、オオタカが問題になったが、それとは異なる。大局的な考え方でなく、道路を造らせない口実にヒメボタルのことを言い始めたと思う。

○ホタルは天白川沿いにもいると聞いたことがある。

○迂回のため山根の住宅街の中を走って双子池を通り抜けるが、今は 7-9 時の時間規制があり、罰金を払っている人もいると思う。そういうことを無くすためにも道路を通してほしいと思う。

○久方の辺りの人たちは、道路が通るという仮定で土地を買っているが、そういう人たちの足元をすくったことになると思う。ホタルより人の方が大事だと思う。絶滅する種であればこんな事言わないが、絶滅しないホタルを、道路を通さない理由に使っている。

○道路が 8 割できてもホタルが生息しているなら、道路が完成しても絶滅することはない。弥富相生山線は命の道路になるので、災害が起きた時のために通しておかないと、島田・野並がパニックになる。ぜひ早く決断して頂きたい。

(相生山緑地の基本計画の検討について)

- 検討会の専門家というのはヒメボタルの専門家か。
- 検討会で想定している有識者は、ヒメボタルの専門家ではなく、まちづくりや福祉、森林生態の分野の方を予定している。
- 道路がなければ緑地にも人が来ない。道路を通せば、環境がいい所という市民のコンセンサスができると思う。
- もし災害が起こったら、相生学区の住民を相生小とコミセンだけでは収容できない。緑地を整備して、避難所を整備してもらえるといい。
- 相生山緑地どこ？という声もあった。投資した金額に見合うような、多くの人に利用される緑地にしないといけない。
- 相生山緑地はまだ用地取得を進めている状況。緑地をどう利用するかなどを検討するために、検討会を行っていきたいと考えている。
- 公園に反対をする人はいるのか。
- 整備という言葉に『開発』をイメージする方がいて、やめてほしいという意見はある。今ある自然を生かしながら、散策路を歩きやすくするとか、既存のグラウンドやゴルフ練習場を広場にするとか説明している。緑地をどう守るか、どう活用するかなど意見の違いがあるなかで、合意形成を目指していきたい。
- 緑地の基本計画の検討を進めるとき、道路と分けないと緑地そのものをどうしていきたいかという話に至らない。検討会では地元からの意見、市民団体からの意見を出してもらわないと相違が埋まらない。色々な意見を持っている人がいるということから認識することから始めたいので、検討会にご参加頂けないかと思う。